日本医療機能評価機構認定病院

公立 山城病院 新聞

YAMASHIRO PUBLIC HOSPITAL

発行元　公立山城病院
発行元責任者　中埜　幸治

病院基本理念・基本方針

病院基本理念・基本方針が新しく変わりました。今後も地域医療の第一線の公的医療機関として住民の方の健康維持・増進に良質な医療の提供に努めて参りたいと思っております。また癒しの心で患者様の思いによりそった医療を提供していきます。

病院基本理念

地域の中核公立病院として、良質な医療を提供し住民の健康維持・増進を図る

基本方針

▼地域医療を確保する
住民の要望に対応した適正な医療を提供する。

▼患者さん中心の医療を提供する
十分な説明と同意のもとに医療を提供し、個人情報の保護に努める。

▼医療安全を徹底する
安心して医療を受けられる環境を整備し、職員の安全教育を推進する。

▼医療水準の向上を図る
医療従事者の研修の場としての役割を果たし、医療水準の向上に努力精進する。

▼公益性と健全経営を行う
公共性を確保し、同時に健全な経営基盤を確立する。

公立山城病院救急診療の現状について

医師の勤務医離れや専攻科の偏りなどから、今や地域基幹病院においても救急診療が立ち行かなくなる状況が全国的な問題となっております。当院においても、今年の2月以降、整形外科常勤医師が不在となり、地域住民の皆様、開業医の先生方、関係機関の皆様には多大な迷惑をおかけしており、申し訳ございません。特に交通事故を始めとした外科系救急患者さんの受け入れについては、初診で診察をさせて頂きましても、疾患が整形外科領域に及ぶ場合は、その後責任を持って継続診療を行うことができないために初めから断らざるを得ない状況となっており、御理解頂きたく存じます。

整形外科領域の疾患というと、骨や筋肉と関係した疾患で具体的には、骨折・捻挫（いわゆるムチウチも含まれます。）、スポーツ外傷、腰痛や肩こり、骨軟部組織のできものなどがあります。切迫した状況でなければ、まずは近隣の整形外科を受診頂くのがよいと考えます。救急の重傷度によっては、当院に一旦受け入れさせて頂くこともありますが、その後は転院となりますのでご了承下さい。

山城病院では、常勤の内科医師10名、外科医師6名、脳外科医2名、小児科医3名で、救急診療を分担しております。内科医師10名は、土曜日の昼間を除く毎日、交代で時間外診療、救急診療に対応。外科系は、外科医師および脳外科医師で、毎日の外科系時間外および救急を、小児科医は日曜祝日の時間外および救急をカバーしております。通常勤務に上乗せする形の勤務であり、当然疲労は蓄積されますが、何とかやっているのが現状です。重症患者さんのための時間外および救急診療ですので、軽症の場合は基本的に平日の外来診療時間内での受診をお願い致します。我々も常に研鑽を続け、医療現場に還元していく所存です。救急診療をより良く継続させるため、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

診療部救急部長　今津　正史

新入職員紹介

外科部長　菅沼　泰

はじめまして。この度、診療部外科部長として4月より赴任しました菅沼泰です。消化器外科医としての経験を生かし、京都府南部の地域医療に貢献できるよう努力いたします。病院では多くの人々と協力して患者の皆様に信頼される医療を目指したいと思います。
よろしくお願いいたします。

麻酔科部長　松本裕則

平成20年1月より麻酔科常勤医として働かせていただいております。患者様とは手術前後の短い期間の関係ですが周術期の患者様の安全を第一に考え、医療を実践していきたいと考えております。よろしくお願い致します。

脳神経外科医長　武内勇人

このたび脳神経外科に赴任した武内です。これまでに各国で色々経験したことなどを今後山城病院での診療に生かし、皆様のお役に立てるように努めてまいります。中枢神経の外科に関してお気軽にお申し付け下さい。よろしくお願いします。

外科医員　小西啓夫

外科常勤医として四月より勤務させて頂く小西啓夫といいます。京都府立医科大学の消化器外科から転勤して参りました。何かと至らない事があるかとは思いますが、地域医療に貢献できる様に頑張っていきたいと思いますので宜しくお願いします。

事務部長　金森利雄

本年4月1日付けで木津川市から出向させていただくこととなりました。事務局長そして事務部長という大役を仰せつかっておりまして、その重責に身が引き締まり、緊張の連続でございます。

さて、現在、公立病院を取り巻く環境は、安定的そして持続可能な医療供給体制の確立、地域医療の連携促進など地域住民皆様方の多様なニーズに応える医療サービスの提供が強く求められています。こうした課題や地域からの期待に応えるため、当院は、地域の中核的な病院としての役割を果たしていかなければなりません。

そして、今年は「改革」スタートの年であります。昨年12月に総務省が発表した「公立病院改革ガイドライン」に伴う改革プランを策定する予定となっております。

この病院の実情をしっかりと見定めて参りますとともに、当院が抱える諸問題を解決するために危機意識を絶やすことなく、実効性のあるプランを策定してまいりたいと考えております。

当院ご利用の皆様方には、一層のご理解をお願いいたしますとともに、病院職員並びに関係各位の皆様方のご指導、ご協力を賜りますようよろしくお願いを申し上げます。

管理課長　奥田真行

本年4月1日付けで木津川市から出向させていただくことになりました事務部管理課長の奥田でございます。近年、わが国の医療・介護制度は大きく変化しており、これからの当院が公立病院としての地域医療を確保していく役割は非常に重要であると考えています。当病院の基本理念・基本方針に則り、微力でございますが、患者様に喜ばれる病院となるよう努力していく所存でございます。関係各位の皆様方のご指導、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

＊　＊　＊

紹介した医師の他に、研修医3名、看護師17名、臨床工学士2名、理学療法士1名、言語聴覚士1名、事務6名の新規採用がありました。今後もよろしくお願い致します。

○　新入職員との集合写真　○

退職のあいさつ

前外科部長　中川　登

このたび、京都府立医科大学消化器外科教室の人事異動により、3月31日で山城病院を退職し、社会保険神戸中央病院外科に転勤になりました。2003年4月、山城病院に赴任して5年になります。赴任当初は、15年計画（基礎固めの5年、発展の5年、充実の5年）で岡村外科を継承するように山岸教授（現学長）から言われて参りましたが、今回は急なことで基礎固めも不十分なまま転勤となり皆様には大変御迷惑をおかけすることになり申しわけございません。赴任した2003年4月は、中埜院長が院長に就任された年でもあり、当時、病院の建物（ハード）は立派なものができておりましたが、内部の運用（ソフト）については、十分には機能していない面が一部にあったように思います。それを改善すべく、まず病院機能評価認定を受診して合格しました。その後、電子カルテ、オーダリングの同時導入を1年でやりとげ運用も軌道にのってきました。更にDPC導入に向かって準備が進んでおります。まさに山城病院始まって以来とも言える大改革の5年だったように思います。この大改革を実行された中埜院長の手腕は院内のみならず、対外的にも高く評価されていると思います。この大改革を直接経験させていただき大変勉強になりました。また、相楽医師会理事を仰せつかり、医師会の先生方とも徐々に連携ができて、手術適応の患者様の御紹介も増えてまいりました。まさにこれからと言うところで、転勤になってしまい、本当に残念で心残りであります。しかし、この貴重な経験を転勤先の病院で生かしてゆきたいと考えております。5年間ではありましたが、大変貴重な経験をさせていただいた事感謝しております。ありがとうございました。

退職者

前外科医長　藤田佳史
前脳神経外科医員　梅林大督
前事務長　奥谷　淳

地域医療連携強化

地域医療連携室は、病院と診療所、病院と病院間の情報交換の窓口です。今、医療の現場は機能分担が進み、それぞれが持っている機能を互いに活用し、少ない社会資源を有効に利用するため、各病院とも積極的に医療連携に取り組んでいるところです。

当院も4月1日から、組織改革を行い、地域医療推進部を新設し、地域医療連携室は地域医療推進部の直轄部門として再編されました。今後も、従前と変わりなく、当院の受診手順や専門医の診察日の情報等を随時お知らせさせていただきますので、各医療機関の皆様には、変わりなくご利用いただきます様、お願い申し上げます。

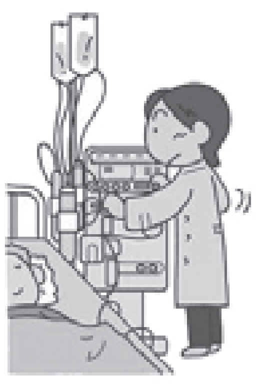
また、地域連携室は1階（脳外科横）にありますので、御用の節には、お気軽にお立ち寄りください。

スタッフ紹介

○**地域医療連携部長**　中井一郎副院長
○**地域医療連携室長**　竹本正雄事務部長
○**看護師**　2名
○**医療ソーシャルワーカー**　2名
○**事務員**　3名

医療機器専門部 臨床工学室誕生

4月より臨床工学室を7名で開設致しました。良質な医療を提供する為に医療機器の安全管理の専門職として医療に貢献していく所存です。よろしくお願いします。



診療科紹介 眼科

公立山城病院の眼科は、現在常勤医師2名体制で入院及び外来診療を行っています。

外来は、火・水・木の3日は2診体制、金曜日は1診体制で行っています。

視野検査、蛍光眼底検査等の特殊検査、レーザー治療、小児の斜視・弱視診療等は月・火・木・金の午後で行っています。

外来では、緑内障、糖尿病網膜症の方が占める割合が多いです。どちらも、失明原因の上位を争う疾患にもかかわらず、初期には自覚症状が無い疾患です。初期に発見されれば、進行を遅らせることが可能ですが、自覚症状が出たときには、かなり末期のことが多く、早期発見、早期治療が重要になります。せっかく早期発見されても、自覚症状が無いが故に受診を中断されるかたもおられますので、視野検査結果や、眼底写真を見ていただいて、治療の意義を理解して通院していただけるよう心掛けています。

手術日は月曜の午前と水曜の午後に定期手術を行っています。手術は、白内障手術が主で、それ意外に眼瞼等の外眼部手術を行っています。白内障手術は日帰り手術から1週間入院まで、対応しております。

今後とも、より良い診療を心掛けてまいりますので、宜しくお願いします。

◎まめ知識 NASHって何?

昨今飽食、運動不足の影響かメタボリックシンドロームという言葉を新聞、テレビで目にしない日はなく、かなり一般に浸透しているようである。そのメタボリックシンドロームの肝臓での表現型として、非アルコール性脂肪性肝炎という疾患概念も徐々に認知されつつあります。この疾患の英語表記 nonalcoholic steatohepatitis の略号がNASHです。この疾患は1980年代にアメリカの病理学者が提唱したもので、1日のアルコール摂取量が20g以下（ビールにして400ml、日本酒で0．8合程度）で病理学的にアルコール性脂肪性肝炎と同様の組織像を示すもので、肥満、糖尿病、高脂血症を合併している頻度が高いと報告されています。単純性脂肪肝にインスリン抵抗性等による酸化ストレス障害が加わり発症するとの説が有力ですが、まだまだ不明の部分もあります。以前は予後良好と認識されていた脂肪肝ですが、現在脂肪肝全体の約10%程度がNASHではないかといわれており、種々の報告からNASHのうち5~20%が5~10年の経過観察で肝硬変に進展すると考えられています。さらにNASHの高度繊維化例では、5年間の肝細胞癌の発生率が15%であったとの報告もあり、致死的な疾患であることは間違いないようです。治療としては抗酸化作用のあるビタミンや糖尿病薬の有効性が報告され現在もさかんに研究されていますが、高度繊維化を来たす前に、適切な食事制限および運動により減量を図ることが、現状での最も有効な治療であることは異論がないようです。あなたはもしかして既にNASHかも?　脂肪肝を指摘されている方で、AST／ALT（GOT／GPT）高値の人、糖尿病、高脂血症を合併している方、高度肥満の方は飲酒歴がなくても要注意です。一度しっかり調べてみてはいかがでしょうか。

消化器内科部長　新井正弘

院内委員会紹介
院内感染対策委員会

病院では患者様・見舞い客・スタッフなど多数の人々が集います。その中には感染症患者、感染症に罹り易い人々が共存し得ます。そういう環境である事を各人が十分認識し、まずは院内での種々感染症の蔓延を防止し、ひいては、公衆衛生に寄与すべく、安全で適正な医療活動を、当院は実践しています。

マスメディアで『院内感染』が日常的に報じられる昨今、人々の感染症に対する認識も高まり、院内での咳エチケット・マスク着用の増加も見られます。小児科的な立場から常々願うことは、みだりに病者を見舞わず、安静保持を祈って上げて欲しいことです。

さて当委員会の活動内容を申します。

①ＩＣＴ活動（院内の微生物サーベイランス）で集団発生勃発の監視、特殊感染症の迅速な鎮圧を協議する場を毎週定期開催。
②医師等、全職種の代表による毎月の定例会で院内感染対策を検討周知徹底。
③教育委員会の一環で研修会を共催。
２００７／10／19『感染症と抗菌剤投与の…』
２００７／11／２『新しい結核の院内感染対策…』
④京都府の第二種感染症指定医療機関、五病院にひとつとして、当院は新型インフルエンザ勃発時の協力要請病院です。

実際のパンデミックがいつ襲来するか、パンデミック時に各人は如何に対処するべきか？　日頃からの行動計画、物品備蓄、感染防止対策をリハーサルすることは、誠に喫緊の要事であり、２００７／２／27午後から、平成19年度模擬訓練（新型インフルエンザ対策）が、当院で行われました。京都府山城広域振興局指令の下、相楽医師会・公立山城病院・相楽及び精華の２消防本部・木津警察署・木津川市・笠置町・和束町・精華町・南山城村の合同訓練でした。望むらくは、仮想で有ります様に。

平成19年度委員長　辻井　久

当院ホームページが新しくなりました

今回ホームページの内容の充実に力を入れ全面リニューアルしました。使いやすく、閲覧しやすいホームページとなっています。新たに老健やましろの紹介やお見舞いメールなど開設しています。ご利用の方に役立つ適切な情報を今後も提供していけるよう努めていきます。一度ご覧ください。

新しくなった
公立山城病院のホームページ

http://www.yamashiro-hp.jp/

コラム
心のふるさと ー40年の思い出ー

私が勤務しはじめたころは木造の建物で、外来診察の待合にある暖房は火鉢でした。今では考えられませんよね。その後、鉄筋二階建てとなり診療棟・厨房棟・管理棟・南病棟および看護師宿舎が建ち、病床数も増えていく中で年々老朽化も進み、平成９年から３年間かけて病院の全面改築が行われ、平成12年７月に現在の病床数３２１床の大きな病院となりました。週休二日制の問題や、病院機能評価の認定、電子カルテ導入への取り組み、老健施設の開設などに誇りと情熱を持って仕事に取り組めたことは私の大切な宝物です。そして、そういった様々な道のりを共に歩んできた職員は私の誇りです。皆様の笑顔があふれるこの山城病院は、私の心のふるさとです。と語る奥谷前事務長の声は活気に満ちていました。

（文責 看護部 中村）

看護部ニュース

看護副部長三名体制

この４月、当院では大きな組織再編成が行われ、看護科より呼び名を看護部と致しました。それに伴い看護部も看護部長を頂点に副看護部長を３名に増加し、組織の改革、見直しを行いました。副看護部長３名は看護部の

１、病棟管理、人材育成
２、外来管理、災害対策
３、医療安全、感染管理

とそれぞれ役割を分担し、皆様のご期待に沿った看護を提供して参りたいと思います。ご支援をお願い致します。

退院調整看護師配置

以前より、地域連携室に看護師一名配置していましたが、今年度より新たに退院調整看護師としてもう一名配置となりました。退院後、患者様、家族様が自宅での生活を少しでも快適にすごせるよう地域と連携をとる役割となっています。退院調整担当として、第１歩を踏み出したばかりです、よろしくお願いします。

地域連携室　退院調整看護師　森　和美

看護師の夜勤が２交代制も選べるようになりました

今まで３交代で真夜中に出勤・帰宅が有り勤務し難い看護師の方もいらっしゃいましたが２交代制も選べるようになり、自分のライフスタイルに合わせた勤務が出来る様になりました。夜中に出勤するのが困る、夜中に帰ってくると家族に負担がかかって仕事が続けられなかった方ももう一度自分の資格を生かした仕事ができます。当院で看護師の夢をもう一度花咲かせてください。

看護師修学資金制度設立

看護師修学資金制度とは看護学校等で現在学んでおられる方が卒業した後、公立山城病院で看護師として仕事をしたいと考えている方が利用できる制度です。経済的理由により修学困難な方に、勉学を続けるのに必要なお金をお貸しする制度です。詳しくは当院総務課にご連絡ください。

春は素敵なプレゼント

NHKの『キミ、変わる、春』では有りませんが、卒業式や入学式のシーズンは、育児に励むご両親への素敵なプレゼントですね。

『桜と梅が一斉に咲いています。奇麗に咲く花も少し可哀想、気温が低く・・』と語る中学生は、私の患者さん。以前の勤務地で、彼女は27週1日、720g、Apgar8点のSFDとして出生、生後1週でDICによる臍出血性ショックで他界しそうになりながら、懸命に耐え、人工呼吸器120日、酸素吸入140日、保育器使用150日を医療チームの支えで為し、生後166日、2980gで退院。一年半の外来フォロー中も、当初の予想をくつがえす様な発育ぶりでした。私の転勤で、長らく会う事も無かったのですが、この春は小児科医の私にも素敵なプレゼントを運んでくれました。

ラスコーの岩絵では有りませんが、『思いは時をこえる』と申しましょうか、幼き頃から子守唄のように耳にした『医療現場』の光と影が想像力を豊かにし、彼女の日々を逞しくリードして来たのでしょか？

先ごろ縁あって、当院の看護部長室で再会。大きくなった彼女とお話しできました。

『私の存在は先生のお陰です、私も小児科医に成りたい』との言葉は圧倒的でした。後輩が激減している今日、久々の朗報でした。

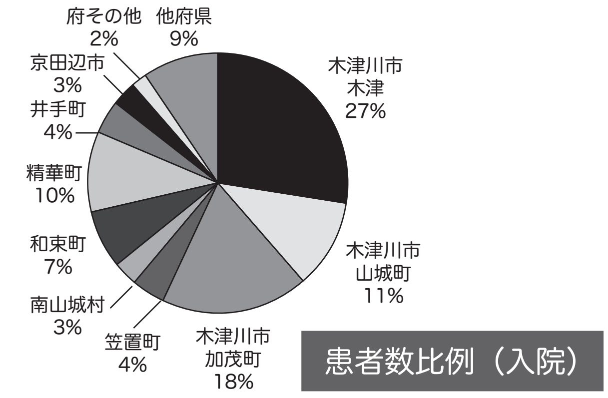
小児科医冥利に尽きる一日でした。ご本人やご家族の快諾の下、喜びの瞬間を掲載して頂きます。後輩も同様の喜びを将来持てるよう、チーム医療の環境は如何に有るべきか？

こどもと暮らすと『子供は大きく育つ』という喜びを日々体験できます。社会全体で子供を見守るという、昔ながらの取り組みが、ますます必要になってくるのでしょう。

小児科部長　辻井　久

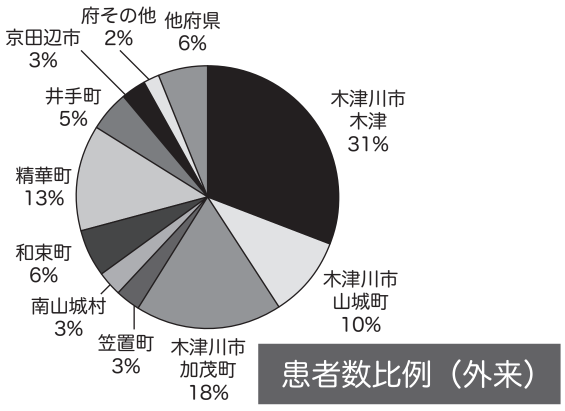
山城病院ご利用者 市町村別比率

平成 19 年度中に当院を受診された患者様を市町村別に抽出した表です。



患者数比例（入院）

木津川市木津町	23,418	精華町	9,132
木津川市山城町	9,432	井手町	3,725
木津川市加茂町	16,019	京田辺市	2,193
笠置町	3,679	府その他	2,118
南山城村	2,847	他府県	7,990
和束町	6,511	合計	87,064



患者数比例（外来）

木津川市木津町	45,180	精華町	19,718
木津川市山城町	15,297	井手町	8,094
木津川市加茂町	26,715	京田辺市	4,373
笠置町	4,145	府その他	3,585
南山城村	4,199	他府県	9,337
和束町	9,082	合計	149,725

看護の日　健康フェスタ　２００８

5月 12 日は看護の日です。ナイチンゲールの生誕にちなみ、全国的に催し物を行っています。当院でも看護の心を皆さんに伝えようと下記のように開催いたします。ナースをはじめ職員一同、多数のご参加お待ちしています。

○**日　時**　平成 20 年 5 月 12 日（月）8 時 30 分〜12 時 00 分
○**場　所**　公立山城病院
　1 F エスカレーター横の通路（晴天時雨天時共）
○**目　的**　山城病院に関わる方や地域住民の看護に対する関心を深め、健康の増進と親睦を図る。
○**内　容**　1．健康チェック　身長・体重・体脂肪・骨密度測定
　2．健康相談　健康・栄養・介護などの相談に対応します。
　3．各種パンフレット配布
　4．記念品配布
○**参加者**　入院患者様及びご家族様、地域住民の皆様
　参加は無料です。お気軽にお越し下さい。
　※お越しの際は公共の交通機関をご利用下さい。
○**お問い合わせ先**　公立山城病院　看護部長室

あじさい会のお知らせ

○**日　時**　平成 20 年 6 月 14 日（土）午後 2 時〜 4 時
○**場　所**　公立山城病院 9 階会議室
○**内　容**　「乳癌治療の現状」公立山城病院　中井一郎副院長
　「乳房再建について」石田医院　石田俊博院長
　茶話会
○**対象者**　乳癌の手術をされた方。
○**お問い合わせ**　公立山城病院外科外来、6 階病棟

相楽医師会　市民公開フォーラム

第 15 回きょうと健やか 21 i n 相楽

乳がん　早くみつけて上手になおそう

–乳がんの早期発見と治療の進歩–

○**講　演**「相楽地区における乳癌検診と山城病院での乳腺診療の現況」
　公立山城病院　副院長　中井一郎　先生
○**映　画**　「Mayu–ココロの星–」 主演●平山あや
○**日　時**　平成 20 年 5 月 17 日（土）午後 1 時 30 分〜 4 時
○**会　場**　私のしごと館「ミュージアムホール」
　入場無料　先着 280 名
○**お問い合わせ**　社団法人相楽医師会　事務局
　TEL　0774–73–8222（平日午後 2 時〜 4 時）

第３回住民医療フォーラム開催

○**日　時**　平成 20 年 5 月 19 日（月）午後 2 時〜 4 時
○**場　所**　公立山城病院 9 会会議室
○**メインテーマ**　血のめぐりが悪くなる！　動脈硬化とその対策
○**テーマⅠ**　足の動脈硬化とその対策
　演者●公立山城病院　放射線科　田中治医長
○**テーマⅡ**　心臓の動脈硬化（狭心症そして心筋梗塞）とその対策
　演者●公立山城病院　循環器科　富安貴一郎部長
※詳しくは、内科外来（火・金）か、放射線科外来（木：午後）にお尋ね下さい。

主催●公立山城病院教育委員会

編集後記

風薫る爽やかな季節となりましたが外出時には帽子や日傘などで紫外線の予防をしましょう。
公立山城新聞は、今回で第 7 号目となります。
今回の号より紙面を新しくリニューアルすることとなりました。
前号までの新聞とは違い枚数が減りますが記事の減ることなく作成できました。
今後もますます皆様に親しんでもらえるような新聞にしていけるよう努力していきます。

公立山城病院　広報委員会

公立 山 城 病 院
京都府木津川市大字木津小字池田 74 番地の 1
TEL 0774-72-0235（病院代表）　FAX 0774-72-2155
http://www.yamashiro-hp.jp/